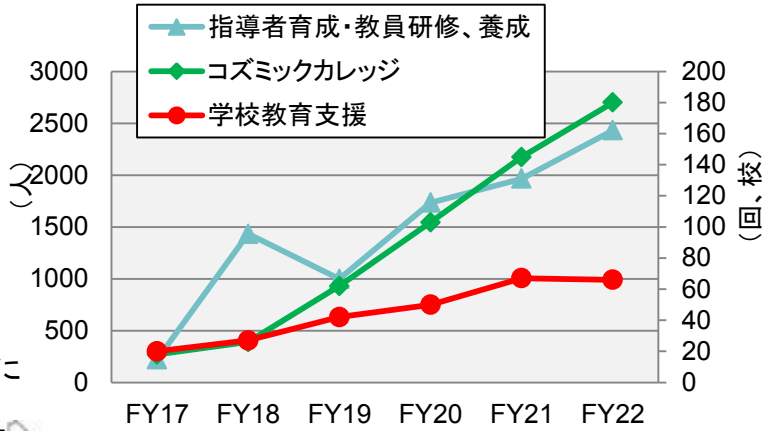
教育活動

「宇宙が子どもたちの心に火をつける。」

宇宙教育は、JAXAなどが行う宇宙活動で得られた様々な知識や技術、データや成果をもとに、初等中等段階の子どもたちを対象に、**学校や地域等と連携**した教育支援活動を行い、**宇宙を目指す青少年の裾野を広げるとともに、幅広い人づくり教育を行い、次世代の日本を担う青少年の、広い意味での人材育成・人格形成に貢献する**ことを目指し活動を行っている。



学校教育

「宇宙」を素材に、学校や教育委員会等の機関と連携して魅力的な授業創りや教員研修を通じて先生方への宇宙を使った授業創りのノウハウを提供し、学校教育現場を支援

社会教育

学校教育現場を離れた土日などに、各年代に応じた段階的学習プログラムによる独自の授業を行ったり、社会教育現場を支える宇宙教育指導者の育成、支援を実施

家庭教育

家庭で、親子が一緒になって宇宙を素材とした教材を使って、楽しく学習、コミュニケーションを図り、家庭内での青少年（特に未就学児、小学校児童）育成の支援を実施

▲ 宇宙教育の活動分野

全国 9ブロック中8ブロックに19の連携拠点を設置
来年度以降も順次拡大予定

▲ 全国各地の連携拠点
(H23.3.31時点)

平成22年度 学校教育支援	
幼稚園	1校
小学校	36校
中学校	16校
高等学校	13校
合計	**66校**（67校）

平成22年度 コズミックカレッジ 宇宙の学校	
コズミックカレッジ	160回
宇宙の学校	20回
合計	**180回**（145回）

平成22年度 指導者育成	
教員研修	1551人
教員養成プログラム	324人
指導者セミナー	557人
合計	**2432人**（1966人）

▲ 主要活動の活動実績推移および平成22年の実績値（カッコ内は平成21年度）

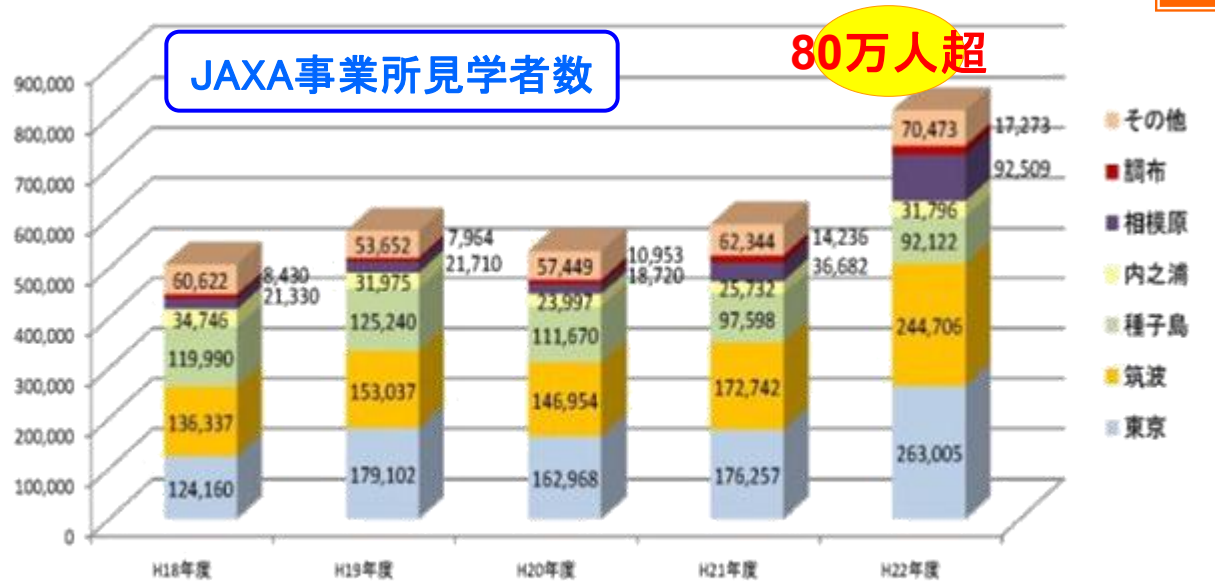
上記の活動を柱に、子どもたちを対象とした活動はもちろんのこと、子どもたちを指導する先生方への研修や、宇宙教育ボランティアの育成を行っている。
また、教育委員会や科学館等の地域団体や研究開発機関、民間企業といった幅広いパートナーとの連携協力の輪を全国に広げ、JAXAのみで活動した場合よりも質・量ともに効果的・効率的な活動を行っている。

広報・普及活動

JAXAの活動への認知度向上を重点に置いた広報活動

JAXA事業に対する国民の理解・支持拡大への取組み

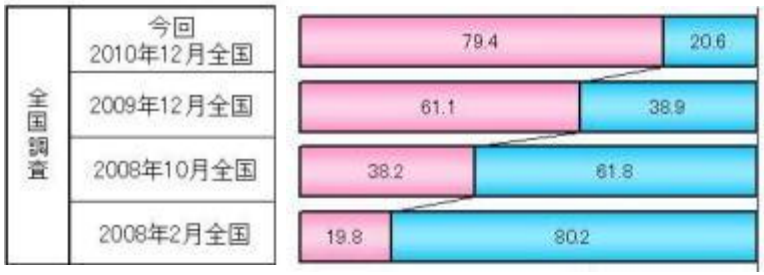
JAXA事業所見学者数



	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
合計	505,615	572,680	532,711	585,591	811,884

認知度調査

「あなたは宇宙航空研究開発機構（JAXA）という名前を聞いたことがありますか？」



*国内外他機関の認知度と比べた調査では、初めてNASAの認知度を上回る。

調査地域: 全国
調査方法: 電話による口頭調査
調査対象：15-59歳の一般生活者男女（サンプル数：1,380ss）
標本抽出方法: 無作為二段抽出

各種広報活動

- タウンミーティング（H16～）
  - →計60回（計8,464名）
  - *FY22年度は各地で14回(年間2,549名参加)
- 報道発表/記者説明会/プロジェクト広報（「はやぶさ」地球帰還の例）
  - →帰還した月のWebアクセス 3,125万
  - *昨年の月平均アクセス約950万
  - →朝日新聞2010年10大ニュースで「はやぶさ」が第1位獲得
  - *他紙においても10位以内での選出が多数
  - *また野口・山崎飛行士、「あかつき」も選出あり
- 国民参加型ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ(愛称募集)等
  - →「こうのとり(HTV)」「飛翔(ｼﾞｪｯﾄFTB」
  - →「きずな」宇宙からｸﾘｽﾏｽﾒｯｾｰｼﾞ配信数80,805通

- JAXAシンポジウム（H17～）
- 筑波展示館ﾘﾆｭｰｱﾙｵｰﾌﾟﾝ（H22.7）
- 「はやぶさ」帰還ｶﾌﾟｾﾙ全国巡回展示（H22.11～）